

**「肌の全層分析」で、よりお客さまの肌状態に合わせたカウンセリングが可能に
肌の表面画像から、皮膚内部の構造を簡便に推定する方法を開発**

ポーラ・オルビスグループのポーラ化成工業株式会社(本社:神奈川県横浜市、社長:岩崎泰夫)は、これまで皮膚内部構造を計測するには専門機関の装置が必要でしたが、肌の表面画像から簡便に推定する方法を開発しました。これにより皮膚内部の構造の老化状態や個人差をより簡便に計測することが可能となりました。この結果、従来から保有している角層やキメなど肌表面の状態を分析する技術と合わせることで、肌全層の状態が分かるようになり(図1)、今まで以上に一人ひとりのお客さまに合わせたエイジングケアアドバイスをすることが可能になると期待されます。

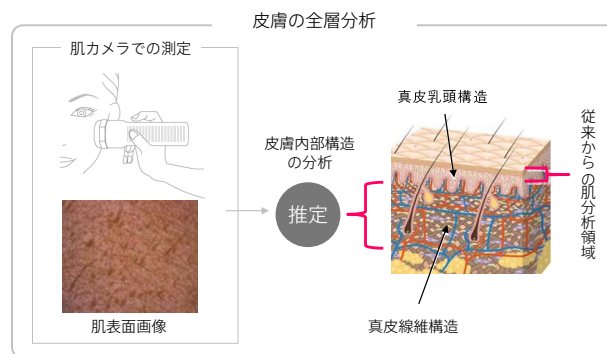


図1 開発した技術の概念

皮膚内部の状態を簡便に推定する方法

- ①皮膚内部の真皮の線維構造や、真皮と表皮の境界線で形成される真皮乳頭構造（基底層凹凸構造）を、研究機器で精密に計測する。
- ②肌カメラで撮影した肌表面の特徴を様々な解析法で、皮膚の皮溝皮丘特性、色特性、周波数特性など約5,000個のパラメーターとして抽出する。
- ③上記①と②のデータを用い統計手法で、肌カメラで撮影した肌表面の状態から、皮膚内部の状態を推定する式を作成(図2)。この推定式の精度を検証したところ、研究用の機器で計測した結果に対して線維構造、真皮乳頭構造ともに非常に高い精度で推定が可能であることが確認されました。

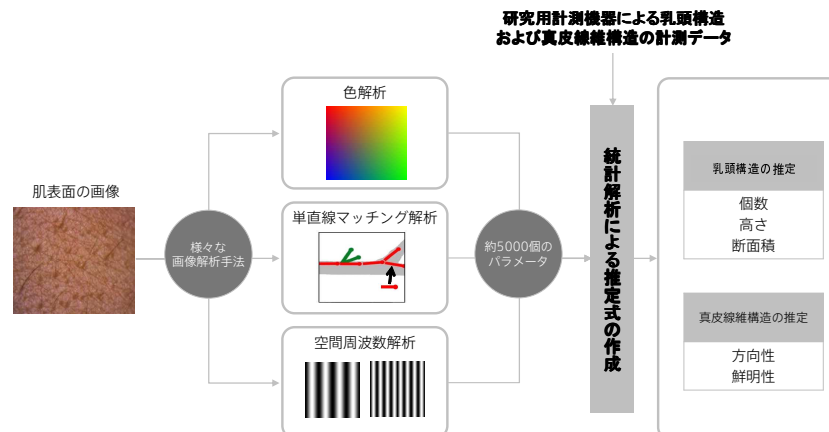


図2 肌表面状態の解析と皮膚内部構造の推定式の作成

ポーラ化成工業では、これらの研究成果を2013年10月30日～11月1日にブラジル・リオデジャネイロで開催されたIFSCC 2013 Conferenceにおいて発表しました。また本成果は、今後ポーラ・オルビスグループから発売されるカウンセリング化粧品の分析技術に活用する予定です。

【本件に関するお問い合わせ先】 (株) ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室
Tel 03-3563-5540 / Fax 03-3563-5543